

令和5（2023）年度 第2回公務員総合学科教育課程編成委員会 議事録

学校法人 YIC 学院 YIC 公務員専門学校 応接室

令和6（2024）年3月22日（金） 11：00～12：00

出席者：外部委員

委員長 社会福祉法人 長門市社会福祉協議会 常務理事 事務局長 澤村 有利生 様
委員 山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター長 阿部 誉久 様

本校教職員

校長 中川 達也

副校長 田中 秀樹

事務長補佐 三船 龍

公務員総合学科 教員 久永 美治

公務員総合学科 教員 青木 敏春

公務員学科 教員 橋口 浩太

1. 校長あいさつ

2. 本校の取り組み状況の説明

(1) 令和5（2023）年度の就職状況について

(田中)

受験年次の1次試験合格率100%（84名中84名合格）、2次試験合格率86.9%（84名中73名合格）だった。全国平均が81%～83%なので、全国平均は上回った。土曜講座等に参加している高校生の合格者も多かった。

(澤村様)

公務員の内定を出ている上で、民間企業を他に受験していて、給料を見て民間企業に行くケースもあると聞いている。今は民間企業に就職する高校生が多い傾向がある。景気がいいと公務員の受験者が減り、景気が悪いと公務員の受験生が増える印象がある。

(田中)

高校ガイダンスで公務員の仕事のやりがいや魅力について啓蒙活動していきたい。

(阿部様)

新型コロナウイルスの感染者が減ったことと人材不足だけで景気が良くなったというより元に戻った感じがする。公務員希望者を増やす為には、地道なアピールが必要である。

(2) 令和5（2023）年度の就職先一覧について

（橋口）

大阪府職員・兵庫県職員・広島県職員などの最終合格者がいる為、山口県の公務員専門学校に通っても県外の公務員に合格できることをアピールしていきたい。2次試験合格先として山口県内の市町の占有率は73.7%（19市町中14市町合格）だった。来年度は山口県職員の公務員試験で短大卒程度の枠が増える。山口県警察は専門学校向けに早期試験を実施するなど、試験内容も年々変化する試験に教職員も対応して学生に受験を促していきたい。

（阿部様）

山口県職員の短大卒程度の枠が増えて、専門学生にはどんな影響があるのか。

（田中）

公務員総合学科2年生は短大程度の学歴になる為、今年から短大卒程度を受験することになる可能性がある、専門学校1年生と高校3年生が高卒程度を受験になる。高校3年生から見ると専門学生のライバルが減るので、受験しやすくなる。専門学生から見ても高校3年生というライバルが減るので受験しやすくなる。お互いにメリット・デメリットがあると感じている。

（阿部様）

現在、定年退職者も増えている為、今後公務員の募集人数も増えるかもしれない。

（澤村様）

採用側も受験しやすい環境を作ろうとしている傾向がある。大卒で社会福祉士の資格を持っていないと受験できなかった試験でも、社会福祉士の資格がなくても受験できるようになってきた。実際の仕事は、総合職で社会福祉士の資格があればいいというわけではなく、人間性や耐ストレス性が必要。また、福祉系の職種では児童相談所等で勤務する場合もある為、資格を持っていても精神的に長く働くことがきついのではないかと考えている。

（阿部様）

採用後の配属先は自分では選ぶことができない為、オールマイティな人材が重宝されると思う。YIC 公務員専門学校では公務員総合学科で実施しているインターンシップ実習やボランティア活動で職業理解を深めた上で就職してほしいと考えている。

（田中）

ご意見をもとに、専門学校でしかできない積極性やコミュニケーション力や実務能力を身に付けることに力を入れていきたい。

(3) 令和5（2023）年度公務員総合学科の検定試験結果について

（久永）

例年通り各検定で高い合格率を残すことができた。公務員総合学科1年は2月の検定試験がボランティア活動や期末試験などの行事と重なり検定試験の勉強に専念することが難しかったので今年は学生が受験しやすい日程調整をしたいと考えている。

(橋口)

同窓会担当をしていて公務員になった卒業生と話をする機会が多く、新人職員は電話対応方法が分からずに苦戦していると聞いた。そこで専門学校で電話対応の実務検定を受けていることで知識がある状態で公務員や民間企業に就職できるので専門学校の学びが実務で役に立つのではないかと考えている。

(澤村様)

公務員に採用された後、電話対応の研修が行われる為、専門学校で実務の知識があれば上司から優秀である評価をもらえるかもしれない。また、PCに不具合があった場合に自分で対応できない職員が多い為、PCに関する知識もあるといいかもしれない。

(田中)

Excel検定やWord検定などは実務でも役に立つ知識やスキルなので今後も続けていきたい。また、電話対応も実務で役に立つため、実施に向けて検討していきたい。

(3) 令和5（2023）年度公務員総合学科の年間行事について

(久永)

全体で参加したボランティア活動以外にも5～10個ほどボランティア募集の案内をして個人で自主的に学生が参加していた。今後も案内を続けたい。また、ひとつづくり地域づくりフォーラム in 山口のボランティア活動で主催者より例年より笑顔が出ていてよかったという意見を頂いた。年間を通して複数回ボランティア活動に参加したことで、楽しさややりがいを感じている結果だと思う。

インターンシップ実習では、防府市役所が山口県インターンシップ推進協議会を仲介せずに実施して頂いた。今後も築いた関係を大切にして、学生に職業理解を深めさせる機会を提供していきたい。今年度は初めて山口大学事務局のインターンシップに参加した。例年は実施時期が9月で授業の進捗がずれる可能性があった為実施していなかったが、今年度は学生の希望もあり実施した。過去に合格して就職している学生もいるので、今後も必要であれば8月の夏休み期間に限らずにインターンシップを実施していきたい。

(田中)

ボランティア活動やインターンシップ実習の数はだいぶ増えてきている。今後は、数をこなすだけでなく、準備（訓練）をして効果のある活動としていきたい。

(澤村様)

ひとつづくり・地域づくりフォーラムのボランティア活動は推進していいと思う。活動内容の発表が具体的で、発表分野も広い為、学生の視野が広がるいい機会だと考えている。公益財団法人山口県障害者スポーツ協会では、パラスポーツを広める活動をしている為、講習会やボランティア活動があれば参加してみてもいいと思う。

(阿部様)

今後、ボランティア活動やインターンシップ実習先として情報があれば提供する。

(8) その他（今後の予定など）

特になし

以上